

歴史と経済

第 236 号

LIX —4 2017・7

論 説

近世後期の町場における宅地化と行財政運営の変容
—下総国香取郡佐原村を中心に— 酒 井 一 輔 (1)

研究ノート

シューマン・プランと西ドイツ鉄鋼業界
—生産・投資・価格へのヨーロッパ石炭鉄鋼共同体の介入をめぐる— 田 中 延 幸 (17)

論点をめぐって

わが国における中国の農民専門合作組織研究の到達点と課題
—合作社内部の企業・農民関係の評価をめぐる— 菅 沼 圭 輔 (27)

開戦 100 周年における第一次世界大戦研究を振り返る
—植民地戦争・世界戦争・「帝国の戦争」の視点から— 浅 田 進 史 (34)

書 評

ロベルト・ユンク著、山口祐弘訳『原子力帝国』 永 岑 三千輝 (43)

岡田益三著『フランスにおける企業福祉政策の生成と展開—企業パトロナージュ・企業パテルナリズム・キリスト教企業アソシアシオン—』 齊 藤 佳 史 (44)

大森一宏著『近現代日本の地場産業と組織化
—輸出陶磁器業の事例を中心として—』 平 沢 照 雄 (46)

樋上恵美子著『近代大阪の乳児死亡と社会事業』 大 杉 由 香 (48)

矢口芳生著『農と村とその将来—規制緩和農政を超えて—』 大 宮 田 剛 志 (51)

朴紅著『中国国有農場の変貌—巨大ジャポニカ米産地の形成—』 李 井 海 訓 (53)

前田亮介著『全国政治の始動—帝国議会開設後の明治国家—』 石 加 瀬 寛 治 (55)

海野洋著『食糧も大丈夫也—開戦・終戦の決断と食糧—』 加 瀬 和 俊 (57)

通商産業政策史編纂委員会編 中田哲雄編著
『通商産業政策史 1980—2000 第 12 巻 中小企業政策』 宮 崎 忠 恒 (59)

朴敬玉著『近代中国東北地域の朝鮮人移民と農業』 飯 塚 靖 (60)

平山昇著『初詣の社会史—鉄道が生んだ娯楽とナショナリズム—』 中 西 聡 (63)

満園勇著『日本型大衆消費社会への胎動
—戦前期日本の通信販売と月賦販売—』 張 楓 (65)

中村尚史著『海をわたる機関車—近代日本の鉄道発展とグローバル化—』 鈴 木 淳 (67)

今泉裕美子・柳沢遊・木村健二編著『日本帝国崩壊期「引揚げ」の比較研究
—国際関係と地域の視点から—』 西 崎 純 代 (69)

長谷川貴彦著『現代歴史学への展望—言語論的転回を超えて—』 小 関 隆 (71)

法政大学大原社会問題研究所／相田利雄編
『サステイナブルな地域と経済の構想—岡山県倉敷市を中心に—』 小 堀 聡 (73)

会 報

2016 年度関東部会研究会報告 (26)

2017 年度中四国部会研究会報告 (42)

2016 年度東海部会研究会報告 (76)

英文抄録 (75)

総目次 (77)